



9 May 2025

Excellency,

On behalf of the United Nations Office at Geneva, I extend our warmest greetings to the people of Ehime Prefecture, the town of Tobe and to the Non-governmental Organization "The Blue Star of Life" on the momentous occasion of the 80th anniversary of the United Nations. This milestone year offers a unique opportunity to reflect on our shared commitment to peace, dignity, and international cooperation.

We wish to express our renewed gratitude for the generous donation of the ceramic globe, "The Blue Star of Life," to the United Nations in Geneva. This remarkable work of art stands as a powerful symbol of hope and unity, embodying the enduring values that the United Nations strives to uphold.

I am most pleased to convey the best wishes of the Director-General of the United Nations Office at Geneva to all participants in the celebrations in Tobe, and especially to the young students taking part in the "Sadako Ogata Mini Forum." We wish them every success, and hope that their discussions and contributions will inspire people around the world and help build a better future for all.

May the spirit of these celebrations in Ehime Prefecture and Tobe, and the vision of your youth, serve as a beacon of peace and resilience for generations to come.

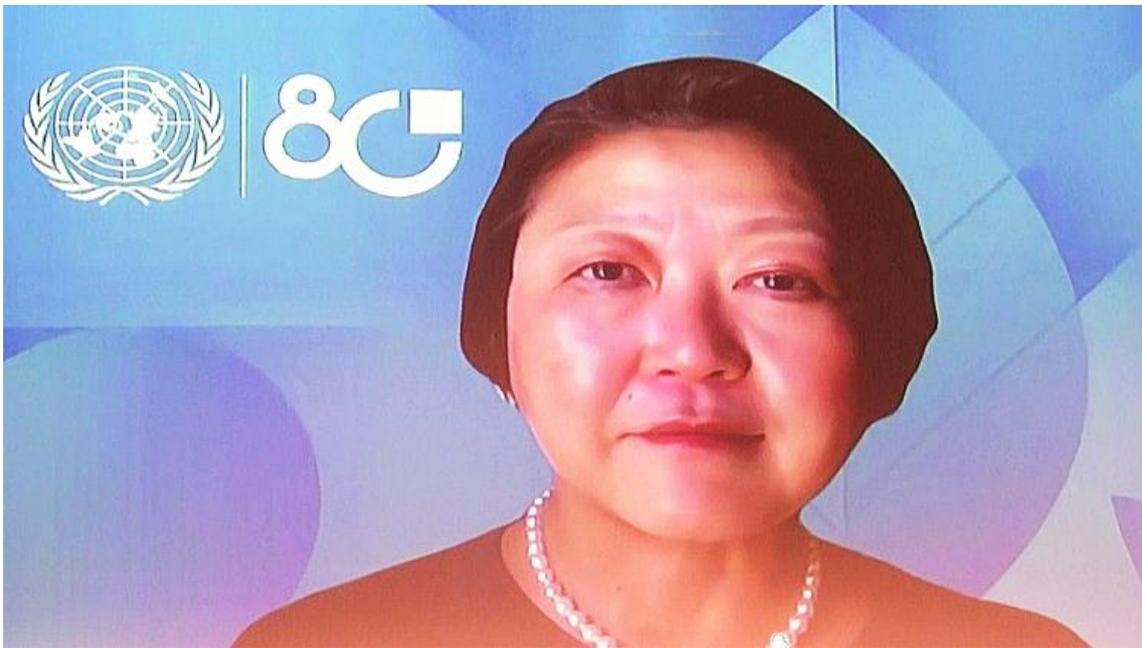
Please accept, Excellency, the assurances of my highest consideration.


Francesco Pisano

His Excellency
Mr. Tokihiro Nakamura
Governor of Ehime Prefecture
Japan

cc.: Permanent Mission of Japan
to the United Nations Office at Geneva
Mr. Takahiro Furutani, Mayor of Tobe Town, Ehime Prefecture
Mr. Shumei Matsuzaki, President, NGO "Blue Star of Life"

UNgeneva からの書簡を UN 広報センター代表の
根本かおる氏が OnLine 代読をして頂いた。



国連創立 80 周年記念事業「生命の碧い星」式典 概要報告

1 事業名

国連創立 80 周年記念事業 ～地球環境保護と世界平和への誓いを永遠に～

2 実施期間・場所

2025 年 12 月 12 日（金）～14 日（日）

愛媛県松山市・砥部町

式典：松山市三越 6 階 E3 ホール

フォーラム：TV 愛媛会議室

2025 年 15 日（月）

東京都内

3 事業の概要

2025 年に国連創立 80 周年の記念式典を、スイス・国連ジュネーブ事務所で開催する予定で準備をしてきたが、ウクライナ戦争などの影響で施設改修工事が完了せず、国連での開催は不可能となった。そこで、「生命の碧い星」の姉妹品を所有している愛媛県砥部町、及び松山市で開催することとし、国連ジュネーブ事務所から応援メッセージをいただいた。

はじめに、コロナ化で中止になった「75 周年記念式典」の際に行う予定だった陶板の除幕式を実施した。

その後、識者・来賓によるメッセージ。そして、日本および海外 6 か国（中国、インドネシア、ラオス、ニジェール、アメリカ、イギリス）の青少年 11 名が進行、及び未来につながる世界平和と地球環境保護への決意を英語でスピーチした。

緒方貞子ミニ・フォーラムにおいても、学生がスピーチを行い、識者や関係者からのコメント、および意見交換を行った。

今回実施したプログラムは次のとおり。

12 月 12 日 羽田空港発→松山空港到着

○事前準備

- ・ミーティング
- ・会場下見、設営機材の確認

12 月 13 日 ○国連創立 80 周年記念式典（会場とオンラインのハイブリッド式）

- ・陶板除幕式
- ・スピーチ：世界平和と地球環境保護をテーマに
- ・小石の献納
- ・フォトセッション

○緒方貞子ミニ・フォーラム（会場とオンラインのハイブリッド式）

- ・学生スピーチ
- ・識者のコメント
- 俳句セッション

12 月 14 日 ○現地見学・愛媛研修

- ・砥部焼伝統産業会館
- ・砥部むかしのくらし館
- ・三谷農園見学
- ・砥部焼絵付け体験（砥部観光センター）

・国際文化交流の夕べ（みかん座）

12月15日 松山空港発→羽田空港着

○東京研修

・日本赤十字社訪問

・額賀福志郎衆議院議長表敬訪問

・UN 大学訪問

・浅草散策－隅田川クルーズ

○解散 羽田空港



国連 80 周年記念式典・陶板の除幕式（12月13日）



国連 80 周年記念式典（12月13日）



国連 80 周年記念式典・小石の献納（12 月 13 日）



国連 80 周年記念式典・集合写真（12 月 13 日）



緒方貞子ミニ・フォーラム終了後の記念写真（12 月 13 日）



砥部焼伝統産業会館見学（12月14日）



砥部むかしのくらし館見学（12月14日）



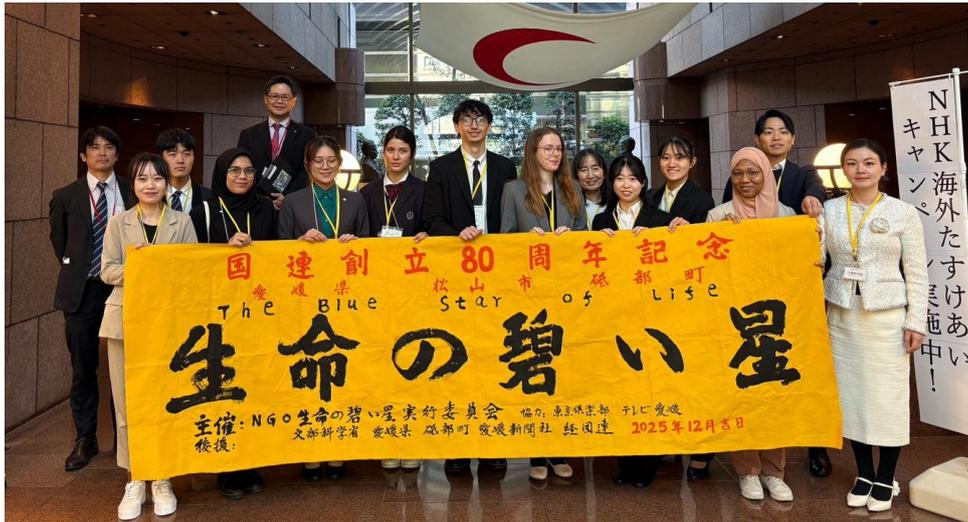
三谷農園訪問（12月14日）



砥部焼絵付け体験@砥部焼観光センター（12月14日）



みかん一座による交流の集い@ミュゼ里山房（12月14日）



日本赤十字社訪問（12月15日）



額賀福志郎衆議院議長表敬訪問（12月15日）



UN 大学訪問（12月15日）

<参加学生名簿>

氏名	国籍・所属
重松 花奈 (Kana Shigematsu)	日本・愛媛大学
中井 真弥 (aya Nakai)	日本・愛媛県立松山北高等学校
近藤 咲美李 (Emiri Kondo)	日本・名桜大学
山崎 優希 (Yuki Yamazaki)	日本・カレル大学 (チェコ)
中矢 大輝 (Daiki Nakaya)	日本・光産業創生大学院大学
Ousseini Faridah Faridah Ousseini (ファリダ)	ニジェール・愛媛大学
CHAISAVANG Noudsanath (ヌット)	ラオス・愛媛大学
Idiahstuty Lestari (イディア)	インドネシア・愛媛大学
Ricky Andrews (リッキー)	アメリカ・愛媛大学
Tyler-Ann Elske (タイラーアン)	イギリス・松山大学
沈 家成 (JIACHENG SHEN)	中国・同志社大学院

4 事業の成果

式典においては、日本を含む7か国の意欲の高い高校・大学生がスピーチを行い、各人がそれぞれの目線から世界平和と環境保護に対する思いを国連に届ける機会になった。また、学生が式典全体の司会進行を担うという試みも成果であったと思われる。

さらに、緒方貞子ミニ・フォーラムにおいて、2度目のスピーチを行うとともに、識者やTBSLの先輩メンバー等との質疑・意見交換をすることで、より一層世界平和と地球環境保護に対する知識や思いを強くする機会になったと思われる。

文化交流に関しては、俳句の作り方の指導を受けたり、砥部焼の「絵付け体験」を行ったりした。「砥部むかしのくらし館」では、昔ながらの日本人の生活や文化を学ぶことができた。ミュージカル劇団「みかん一座」による交流の集いでは、歌やダンスで座員メンバーとの交流を深めた。とりわけ留学生にとっては、日本人の暮らし方の移り変わり、ミカン農園から砥部焼という伝統的芸術までを体験的に知る機会になったことは、これからの国際交流に関わることに役立つものと期待される。

本事業では、多くの方の賛同と協力を得ることができ、それにより充実した式典、およびフォーラムとなった。式典には、デヴィ・スカルノ夫人、塩崎彰久衆議院議員、石井智恵衆議院議員、帽子大輔愛媛県議会議員、原俊司松山市議会議長に出席いただいた。さらに、被団協の松浦秀人代表理事にも出席いただくことができた。

また、今回は始めて、会場とオンラインとのハイブリッド式典及びフォーラムを実施した。オンライン出席者は、識者として、根本かおる氏、野口千歳氏、阿古智子氏（東京大学教授）、マリ・クリスティーヌ氏、小泉京美氏のほか、TBSL関係者も数名がフォーラムに参加していただき、素晴らしい発言をいただいた。議長公邸をはじめ、都内の各訪問先でも、丁寧な説明をいただいた。学生からの質問も多かった。各人にとって、学ぶことが多かったものと推察される。

石破茂前総理、額賀福志郎衆議院議長からも、願いを込めた小石を献納していただいた。開催が危ぶまれたTBSL式典であったが、今回の松山市・砥部町で実施できたことは、本事業の継続性の担保と新たな運営体制づくりとなり、2030年の国連ジュネーブ本部訪問&記念式典の開催に向けた重要な事業であったと言える。